

川崎市子ども夢パーク 令和7年度事業進捗状況

1 令和7年度利用目標

利用目標：誰一人取り残さない居場所づくり

- (1) 子どもの育ち「遊び、学ぶ、ケア」の実現
- (2) 中高生の居場所の推進
- (3) 子どもの権利の更なる推進

2 令和7年度利用状況（令和7年4月～12月）

(1) 利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和7年度	日帰り	5,673	6,983	7,451	6,730	5,236	6,582	5,711	6,285	3,638	54,289
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度	日帰り	5,545	7,622	7,065	6,320	4,724	5,784	6,149	6,886	4,000	54,095
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対令和6年度比	日帰り	128	-639	386	410	512	798	-438	-601	-362	194
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和5年度	日帰り	6,176	7,188	6,259	7,490	5,812	6,311	7,103	7,405	3,746	57,490
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対令和5年度比	日帰り	-503	-205	1,192	-760	-576	271	-1,392	-1,120	-108	-3,201
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 利用団体数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和7年度	日帰り	66	111	109	101	147	99	100	100	99	932
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度	日帰り	61	104	112	113	90	102	132	119	71	904
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対令和6年度比	日帰り	5	7	-3	-12	57	-3	-32	-19	28	28
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和5年度	日帰り	71	110	127	133	126	117	125	122	76	1,007
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対令和5年度比	日帰り	-5	1	-18	-32	21	-18	-25	-22	23	-75
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 対令和6年度比における主な増減要因

- ・猛暑で外あそびや外活動が制限される中、暑さ対策を周知することで、乳幼児団体・保

育園・幼稚園・放課後等デイサービスの遠足の利用は継続された。

10～11月の週末に雨天が多かったため来場者が減った。また、12月も「クリスマスイベント」を「年末お楽しみ会」にタイトル変更したため、子ども達への内容の周知がしきれなかった。

3 令和7年度主催事業等の実施状況（令和11月～令和8年3月）

※令和8年2月及び3月は実施予定です

(1) 主な主催事業

事業名	新規・継続	実施日	実施回数	事業内容	定員	参加者数
金曜あそぼう会 (幼児親子対象)	継続	通年	18(学校の 休み除く)	外遊びに慣れていない乳幼児親子にも プレーパークを楽しんでもらうきっか けづくりに。		
中川さん、川野さんのお はなし×2パーク(幼児 親子対象)	継続	通年 第2火	12	乳幼児の部屋「ゆるり」等を利用し、 ボランティアによる乳幼児向けの読み 聞かせや手遊びを実施。		
ブックカフェさくらのお はなし×2パーク(幼児 親子対象)	継続	通年 第3木	11(8月休 み)			
親子でもっとあそぼう会 (幼児親子対象)	継続	通年 第3水	10(8月休 み、2月祝 日で休み)	支援委員会と共に、当プレーパークに ある素材を使って外遊びの幅を広げる きっかけづくり。		
ゆるりであそぼうはなそ う会 (幼児親子対象)	継続	通年 第4水	12	ボランティアによる読み聞かせや手遊 びの他、育児相談等。		
スタジオ講習	継続	通年	24(第2・4 土+臨時)	本格的スタジオの機材や予約・利用の 仕方の講習。カードが発行され、スタ ジオが利用できる。		
KujiRock	継続	春・ 秋・冬	3	スタジオ利用者(出演者)が中心にな り手づくりの本格ライブを行なった。		
おさがりバザール	継続	隔月	6	着られなくなった(不要になった)子 どもの洋服や靴などを無料で譲り合う 「もったいない」「よろしかったらど うぞ」の『おさがり文化』を発信し た。		
GW あそぼうディ	継続	GW	3日	担当スタッフが夢パで楽しめるGWを デザイン。		
夢パークまつり 【三大イベント】	継続	7/21	1	毎年7月に周年行事として開催。泥と 水を思い切り楽しんでもらうために、 スタッフがその日限り、この夏限りの 大型遊具をつくり、いつもとは違う大 胆な泥・水遊びにチャレンジしてもら った。		
こどもゆめ横丁 【三大イベント】	継続	11/3	1	9月の出店希望者説明会から始まり、 出店申し込みした子どもたちはお店の 建設。商品企画。当日は現金商売。横 丁内のアルバイト、ステージのパフォー マンスなど、出店者も来場者も大い に盛り上がった。。		
新春イベント 【三大イベント】	継続	1/11	1	日本の伝統文化や風習を体験できるよ う、もちつき、どんど焼き、昔遊びな どを地元町内会や市民活動団体、大学 生等と共に開催。地域・世代間交流の 場ともなり、地域活性の一翼を担う。	新春イ ベント 【三大 イベン ト】	継続

つくりつづける会	継続	第3土	11(8月休)	夢パークを利用している団体・グループ・ボランティア・個人と支援委員会・スタッフの利用者懇談会。	つくりつづける会	継続
合同見学会	継続	不定期 月1回	10	年間を通じ、毎月1回夢パークとえんの説明会を、所長が行っている。	合同見学会	継続

(2) 主な主催事業において工夫した点・評価・課題等

- ・子どもが声を出しやすい環境を目指し、個人または会の方針、曜日、時間帯などに工夫を重ねる。
- ・子どもの声からミニイベントをすすめている。

(3) その他事業報告

- ・えん登録者 161 名（小学生 60、中学生 33、高校生 30、19 歳以上 38）2026. 1. 14 現在

4 施設設備・管理に関する対応（令和7年11月～令和8年3月）

件名	場所	内容	実施月

5 課題への取組及び今後（令和8年度以降）の事業展開

- ・こどもゆめ横丁、12月最終日“（仮）焼き焼き大会”、新春イベント、ライブなど子どもたちの声をききながら実施していく。
- ・フリースペースえんの登録者増に対するの対応を検討中

川崎市子ども夢パーク 令和 8 年度事業計画案

1 令和 8 年度利用目標

利用目標：利用者数 75,000 名

子ども参画・意見表明を核とした子どもまんなかの居場所づくり

- 子ども参画による夢パークの運営
- 子どもの意見表明の機会

2 令和 8 年度主催事業計画

(1) 主な主催事業

事業名	新規, 継続	実施月	実施回数	事業内容
プレーパーク	継続	通年	毎日（閉所日以外）	禁止事項を極力少なくし、挑戦と経験を積み重ね「自分の責任で自由に遊ぶ」冒険遊び場を開設。（月・水・土・日曜日は火おこしや工具が使える）
金曜あそぼう会 （幼児親子対象）	継続	通年	17（学校の休み除く）	外遊びに慣れていない乳幼児親子にもプレーパークを楽しんでもらうきっかけづくりに。
中川さん、川野さんのおはなし×2 パーク（幼児親子対象）	継続	通年 第 2 火	12	乳幼児の部屋「ゆるり」等を利用し、ボランティアによる乳幼児向けの読み聞かせや手遊びを実施。
ブックカフェさくらのおはなし×2 パーク（幼児親子対象）	継続	通年 第 3 木	11（8 月休み）	
親子でもっとあそぼう会 （幼児親子対象）	継続	通年 第 3 水	10（8 月休み）	支援委員会と共に、当プレーパークにある素材を使って外遊びの幅を広げるきっかけづくり。
ゆるりであそぼうはなそう会 （幼児親子対象）	継続	通年 第 4 水	12	ボランティアによる読み聞かせや手遊びの他、育児相談等。
せせらぎ清掃	継続	6～10 月 第 2, 4 木	10	子どもたちの手伝いたい！の声から来所された子ども大人と行うせせらぎ池の清掃作業。
メンテナンスの日	継続	第 4 月	8	自転車や本など夢パークにある物を来所者と共に修理。物を大切に使うことを伝えている。
スタジオ講習	継続	通年	15（第 2・4 土+臨時）	本格的スタジオの機材や予約・利用の仕方の講習。カードが発行され、スタジオが利用できる。
サタデーナイトスタジオ	継続	通年	12（第 2・4 土）	高校生のスタジオ登録者を中心に、学校を越えて、KujiRock についての話し合いなど
KujiRock	継続	春・秋・冬	3	スタジオ利用者（出演者）が中心になり手づくりの本格ライブを行なう。
おさがりバザール	継続	隔月 夢まつり	7	着られなくなった（不要になった）子どもの洋服や靴などを無料で譲り合う「もったいない」「よろしかったらどうぞ」の『おさがり文化』を発信した。
GW あそぼうディ	継続	GW	5 日程度	担当スタッフが夢パークで楽しめる GW をデザイン。
夢パークまつり 【三大イベント】	継続	7/20	1	毎年 7 月に周年行事として開催。泥と水を思い切り楽しんでもらうために、スタッフがその日限り、この夏限りの大型遊具をつくり、いつもとは違う大胆な泥・水遊びにチャレンジしてもらう。
こどもゆめ横丁 【三大イベント】	継続	11/8	1	9 月の出店希望者説明会から始まり、出店申し込みした子どもたちはお店の建設。商品企画。当日は現金商売。横丁内のアルバイト、ステージのパフォーマンスなど、出店者も来場者も大いに盛り上がる。
横丁実行委員会 （よこたの、YTK）	継続	6 月以降 月 1～2 回	10	「こどもゆめ横丁」をもっと盛り上げるために、小・中・高校生が企画。大学生もオブザーバーとして参加することもある。

(仮) 焼き焼き大会	新規	1	12/27	12月開所の最終日、夢パに来た子ども達とスタッフが思いっきり遊べる企画を検討中。「火」が使える日なので、泥も芋もマシュマロも焼いてみよう！
新春イベント 【三大イベント】	継続	1/10	1	日本の伝統文化や風習を体験できるよう、もちつき、どんど焼き、昔遊びなどを地元町内会や市民活動団体、大学生等と共に開催。地域・世代間交流の場ともなり、地域活性の一翼を担う。
つくりつづける会	継続	第3土	11(8月休)	夢パークを利用している団体・グループ・ボランティア・個人と支援委員会・スタッフの利用者懇談会。
合同見学会	継続	不定期 月1回	10	年間を通じ、毎月1回夢パークとえんの説明会を、所長が行っている。

フリースペースえん

ミーティング	継続	週1回	33	誰もが言いたいことを言い、安心して過ごせる居場所を、自分たちの力で整えていくための場。
自然体験合宿	継続	年2回	2	豊かな自然の中で寝食を共にし、子どもたちがプログラムやルールを自分たちで決めながら様々な活動を行なう合宿を夏(八丈島キャンプ)と冬(スキー・スノーボード)に実施予定。
たまりばフェスティバル	継続	年1回	未	講座や自主企画など一年間を通して行なってきた活動の発表の場。
プロジェクトX(フェスティバル実行委員会)	継続	9月以降 1~2/月	8	子どもたちが「たまりばフェスティバル」の準備のために立ち上げる実行委員会。仲間を集め、広報、プログラム・パンフづくり、その他の企画・運営を行なう。
単発企画	新規・継続	通年	26	自然観察・野外体験・イベント等、子どもたちの発案からの企画。
連続講座	継続	通年	90	音楽系、ワークショップ系、文化系、食系など講座など10~15種類の講座を予定。

(2) 主な主催事業において工夫する点・課題等

- ・子どもが声を出しやすい環境を目指し、個人または会の方針、曜日、時間帯などに工夫を重ねる。
- ・利用者(子ども、大人)の声を基に話し合い、その内容は掲示等で公表していく。
- ・初めての来所の方も、遊び慣れていない子どもも、遊びたくなるような環境づくり。

(3) その他計画している事業

・自主企画事業

グループ相談会	継続	奇数月	6	子どもに対し困りごとを持ち、えんには未登録の保護者を対象に、スタッフも同席のもと保護者同士で話し合う会。
フリースペース活動説明会	継続	偶数月	6	保護者・フリースペース(居場所)の活動に関心のある方を対象に夢パークやフリースペースえんの活動を紹介。
大人を対象とした講座	継続	未	未	えんの保護者や関心のある一般の方を対象として企画していく。
実習受入	継続	5月	2	大学生がプレーパーク、フリースペースえんいずれかで、子どもと接したりスタッフと話あったりする。

スタッフ派遣	継続	未	未	区内で定期的に行われるプレーパークへ依頼を受け、プレーリーダーとして派遣
--------	----	---	---	--------------------------------------

3 施設設備・管理に関する対応

件名	場所	内容	実施月
LED 化工事	全天候広場	※市に申請済み	
屋上防水	屋上	市に申請中	
園路灯改修	サイクリングロード	検討中	
外柱の交換	ログハウス	検討中	

4 主な課題への取組

- ・こどもゆめ横丁が 21 回目を迎える。取り巻く環境が変化する中で、子どもの様子を観察し、耳を傾けながら、子ども参画のあり方を子どもたちと共に検討していく。
- ・12 月最終日の（仮）焼き焼き大会、新春イベント、ライブなども、子どもたちの声をききながら子ども達と一緒に実施していく。
- ・屋上の防水、ログハウスの外柱の傷み、ごろりの雨漏りなど、経年劣化に伴う修理が必要な箇所も増えてきているので、所管課と相談しながら、保全に繋がる計画を立てていく。

川崎市八ヶ岳少年自然の家 令和7年度事業進捗状況

1 令和7年度利用目標

自然に親しみ、富士見町の豊かな自然環境の中で、団体や個人の宿泊生活を通して健全な青少年の育成を図ります。

また、八ヶ岳ならではの特色ある活動プログラムを取り入れ、学校や家庭では得がたい体験の場を提供します。

安全で安心して活動できる環境づくりと、適切な指導の充実に努めます。

※ 施設利用者目標 96,000人

(1) ゆとりある活動プログラムの実施

自然体験や野外活動に加え、食事・入浴・消灯・清掃等の生活行動も学びの一環と捉え、学校や各団体と連携し、充実した活動が行えるよう努める。

(2) サステイナブルプログラムの本格的な運用

自然環境を大切にする意識や持続可能な生活習慣の定着を目的とし、「小さな行動が未来を支える」という考え方を体験学習を通して身に付けられるよう取り組む。

(3) 団体受け入れの強化

団体への案内を強化するとともに、効率的な部屋割りをを行い、団体利用者の増加を図る。

(4) 一般利用促進

近隣施設へのチラシ配布、インターネットによる情報発信、イベントへの参加等により、広報と利用案内を強化する。

(5) 老朽化に伴う施設整備を積極的に実施

老朽化対策として、施設の長寿命化および寒冷地特有の環境を考慮した効率的な修繕を計画的に実施する。

(6) 安全な体験活動ができるよう安全委員会を設け対策の検討

安全委員会を設置し、食の安全確保、施設内危険箇所の点検・改善、各プログラムにおける危険要因の抽出と対策検討を行い、安全な体験活動の実施に努める。

2 令和7年度利用状況（令和7年4月～12月）

（1）利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和7年度	日帰り	75	80	73	72	112	1	68	41	45	567
	宿泊延べ	675	5,915	11,183	9,355	7,120	11,394	5,491	586	1,863	53,582
令和6年度	日帰り	37	87	66	60	41	59	32	37	36	455
	宿泊延べ	1,530	2,418	13,954	8,263	7,690	9,349	9,689	1,472	2,116	56,481
対令和6年度比	日帰り	38	-7	7	12	71	-58	36	4	9	112
	宿泊延べ	-855	3,497	-2,771	1,092	-570	2,045	-4,198	-886	-253	-2,899
令和5年度	日帰り	26	149	28	34	39	0	0	20	5	301
	宿泊延べ	2,722	6,359	10,745	8,513	9,239	10,773	7,645	1,371	1,986	59,353
対令和5年度比	日帰り	49	-69	45	38	73	1	68	21	40	266
	宿泊延べ	-2,047	-444	438	842	-2,119	621	-2,154	-785	-123	-5,771

（2）利用団体数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和7年度	日帰り	11	13	9	12	10	1	2	1	5	64
	宿泊延べ	71	128	102	119	187	140	121	65	95	1,028
令和6年度	日帰り	7	13	13	7	11	6	4	4	5	70
	宿泊延べ	91	111	119	87	137	134	136	77	86	978
対令和6年度比	日帰り	4	0	-4	5	-1	-5	-2	-3	0	-6
	宿泊延べ	-20	17	-17	32	50	6	-15	-12	9	50
令和5年度	日帰り	8	15	5	7	9	0	0	5	1	50
	宿泊延べ	92	151	125	104	142	143	152	50	147	1,106
対令和5年度比	日帰り	3	-2	4	5	1	1	2	-4	4	14
	宿泊延べ	-21	-23	-23	15	45	-3	-31	15	-52	-78

（3）対令和6年度比における主な増減要因

【4月～10月】

- 春の中学校自然教室が他施設での実施となったため、本年度は春に当施設を利用した中学校はなかった。

また、昨年度はバス入札の不調により一部の学校が他施設を利用したが、本年度はそれを上回り、小学校19校が他施設で自然教室を実施した。このため、利用者数は大きく減少した。

例年は11月まで小学校の自然教室を実施しているが、本年度は10月下旬で終了した。

- 一般利用者および青少年団体については、曜日の並びが良く、利用可能日が多かったことから、利用者数が増加した。

【11月12月】

- ・受水槽入替工事に伴い、11月13日から12月25日まで受け入れ制限を実施した。あわせて、11月15日から18日および1月6日から9日については、断水のため休館とした。このため、利用者数が減少する要因となった。

【その他】

- ・年末年始は利用要望が多いことから、今年度も受け入れを実施した。
- ・冬季中学校自然教室についても他施設での実施校があるため、利用者数は大きく減ることが予想される。

3 令和7年度主催事業等の実施状況（令和11月～令和8年3月）

※令和8年2月及び3月は実施予定です

（1）主な主催事業

事業名	新規, 継続	実施日	実施回数	事業内容	定員	参加者数
ふじみ星空観察会	継続	11月-12月 (4月-10月)	2回 (6回)	外部専門講師による宿泊者と近隣入眠などを対象に季節に合わせた星空観察を実施	各月 60名	74名 (207名)
ふれあい星観察会	継続	11月-12月 (4月-10月)	11回 (69回)	自然教室以外の施設利用者対象とした星空観察	なし	244名 (3,461名)
落ち葉堆肥作りと秋の雲海	継続	11-15-16	中止	早朝の雲海観察と秋の入笠山散策	20名	参加なし
八ヶ岳自然観察会	継続	11月 (4月-10月)	1回 (6回)	野草・昆虫・動物などの観察や学習	なし	3名 (16名)
みそづくり体験	新規	2月28日	1回	信州ならではのみそづくりを体験	20名	募集中
春のスキー・スノーボード体験	新規	3月7日-8日	1回	1泊2日でスキー・スノーボード体験、八ヶ岳の自然を体感する	20名	募集中
指導員講習会	継続	3月7日-8日	1回	指導員養成のための講習会	10名	募集中

（2）主な主催事業において工夫した点・評価・課題等

- ・星空観察事業については、ボランティアスタッフの増員を図り、今後も継続的に実施できる体制を整えた。
- ・指導員講習会：自然教室での指導員確保のための教育、指導。

（3）その他事業報告

- ・自然教室の一部を他施設で実施していることや、八ヶ岳少年自然の家の方々の今後の方向性について、新聞報道で取り上げられたことにより、「八ヶ岳少年自然の家は閉鎖している」「令和7年度で閉鎖する」などの誤った情報が拡散している。

また、レッドゾーン・イエローゾーンに対する過剰な反応も見られ、他施設の利用を検討する団体が発生している。

このような風評による影響が懸念されることから、今後は正確な情報発信に努めていく。

4 施設設備・管理に関する対応

件名	場所	内容	実施月
屋外トイレ改修工事	野外炊飯場	洋式変更	12月
屋外トイレ改修工事	第2駐車場	洋式変更	12月
防火扉改修工事	花の棟	閉鎖時の扉異常修理	2月
内風呂ボイラー部品交換	第1浴室	不着火のため部品交換	2月
自動火災報知設備取替	星の棟	感知器取替	2月
誘導灯取替工事	花、山、鳥の棟、他	器具不良等	2月
照明更新工事	野外炊飯場	LED更新工事	2月
照明更新工事	アストロハウス	LED更新工事	2月

5 課題への取組及び今後（令和8年度以降）の事業展開

※課題への取り組み

- ・ 自然教室向けにサスティナブルプログラムを本格的に運用開始。
※ 実施校数 28校（約2,800人）
- ・ 物価上昇により補助食の料金を変更。
- ・ 和式トイレの使用が困難な児童が多いため、野外炊飯場および第2駐車場のトイレを洋式化する改修工事を実施。
- ・ 施設内照明のLED更新、省エネルギー化を随時進めている。
- ・ 施設の老朽化に伴い、必要な修繕を順次実施。

※2月以降の事業展開

- ・ 3月3日まで 冬期中学校自然教室受け入れ。
- ・ 3月を中心に社会教育団体受け入れ。
- ・ 3月15日 川崎市青少年フェスティバル参加 クラフト体験等
- ・ 3月27日～28日 令和8年度 小学校自然教室実地踏査
- ・ 従業員研修随時

※令和8年度以降の事業展開

- ・ 自然教室減に伴い社会教育団体及び一般利用の強化
- ・ 主催事業の充実

川崎市八ヶ岳少年自然の家 令和 8 年度事業計画案

1 令和 8 年度利用目標

利用目標：利用者数 52,600 名

- (1) 自然に親しみ富士見町の自然の中で団体や個人の宿泊生活を通して健全な少年の育成に取り組む。
- (2) 八ヶ岳ならではの活動プログラムを取り入れ、学校や家庭では得がたい体験の場を提供する。
- (3) 安全で安心して活動できる環境づくりに努め、適切な指導を行う。
- (4) 催事業の充実を図り、利用促進に取り組む。
- (5) 社会教育団体および一般利用者に向けた広報を強化し、利用促進を図る。

2 令和 8 年度主催事業計画

(1) 主な主催事業

事業名	新規, 継続	実施月	実施回数	事業内容
ふじみ星空観察会	継続	4月～3月	11回	外部専門講師による宿泊者と近隣住民などを対象に季節の星空観察を実施
ふれあい星観察会	継続	4月～3月	50回	自然教室以外の施設利用者対象とした星空観察
ふれあいサマーキャンプ	継続	7月下旬	1回	川崎市内の子ども達が夏休みを活用し富士見町の散策と地元の小学生と交流を行う。
田植え体験	新規	5月下旬	1回	地元農家の指導のもと田植え体験
八ヶ岳自然観察会	継続	5月～10月	10回	野草・昆虫・動物などの観察
入笠山ハイキング	新規	6月	1回	ハイキングとすずらんや春の山野草を観察
自然散策トレッキング	新規	春～秋	2回	八ヶ岳周辺の自然を散策
親子でSDGs体験	継続	9月下旬	1回	サステイナブル体験
稲刈り体験	新規	9月下旬	1回	地元農家の指導のもと田植え体験
雲海と紅葉ハイキング	新規	10月下旬	1回	早朝の雲海観察と秋の入笠山散策
指導員講習会	継続	3月	1回	指導者養成のための講習

(2) 主な主催事業において工夫する点・課題等

- ・自然教室の利用減に伴い、主催事業を増やし利用促進。
- ・バス代高騰のため、現地集合での主催事業を実施。
- ・地元農家に協力をお願いし田植え、稲刈り体験を実施。

(3) その他計画している事業

- ・令和 7 年度は、多くの学校がサステイナブル学習に興味を持ち活動を行ったことから、その落ち葉堆肥を活用し、内容をより充実させた学習を実施。

3 施設設備・管理に関する対応

件名	場所	内容	実施月
LED 交換工事	宿泊棟各所		調整中
カーペット張替え	センターハウス	検討中	調整中
畳表替え	星の棟	検討中	調整中
壁紙張替え	宿泊棟各所	破損による補修	調整中

4 主な課題への取組

(1) 活動プログラム

自然体験や野外活動に加え、食事、入浴、消灯、部屋の清掃等も活動プログラムの一環であることを認識し、学校や各団体と十分に調整を行いながら、ゆとりのあるプログラムづくりに努め、充実した活動が実施できるよう取り組む。

(2) 建物・設備管理

老朽化に伴う施設整備を計画的かつ積極的に実施し、長寿命化を念頭に置いた整備を行う。

また、設備点検により発見された異常については、利用への影響を最小限に抑えるよう、迅速に対応する。

(3) 安全運営

安全な体験活動が実施できるよう安全委員会を設置し、必要な対策について検討を行う。

食事の安全管理、施設内の危険箇所の洗い出し、プログラムにおける危険要因の抽出等を行い、継続的な対策および改善に努める。

(4) 屋外環境整備

施設内の枯木・枯れ枝や、強風時に倒木の恐れがある樹木等の危険要因を除去し、安全に野外活動が行える環境整備を行う。

あわせて、屋外施設や樹木の整備を進め、施設全体の雰囲気づくりにも取り組む。

(5) 利用促進

主催事業の充実、イベント参加や近隣施設へのリーフレット配布、SNS などを使用した情報発信などを行い積極的な利用促進を行います。